

Your Lifeスタイル

『昔と違う建築基準法』

地震などの災害では、昔の一戸建てがよく崩壊しています。建築基準法はこのようなことが起きないように、耐震性が良くなった歴史を知りましょう。

■「建築の基準」今と昔

建築基準法は、一戸建てをハウスメーカーに注文して建てる方や、建売業者から購入する方にとって重要な法律です。建築基準法は1950年に制定された法律です。とても古い法律ですが、これまで何度も改正され、より良い一戸建てができるような法律になりました。この改正に大きな影響を与えたのが地震に対する耐震です。耐震に関するもっとも大きな法改正は宮城県沖地震（1978年）の後です。この時、旧耐震基準から新耐震基準へ変わりました。さらに阪神・淡路大震災（1995年）の後には、木造の一戸建てを建てる時に地盤調査の義務化と接合部の金物が指定されるようになりました。このように建築基準法が改正され、

家の耐震性は昔よりもよくなっています！



より安全性の高い建物が一般的になっていったのです。

■一戸建てを建てる時

家族を守るために耐震性というキーワードは重要になります。阪神淡路大震災の時に2×4（ツーバイフォー住宅）やコンクリート住宅が評価されています。さらに、木造建築の欠点をなくすための建築基準法の改正もありました。結論としては、今の建築基準法に違反しない一戸建てを建てるのが耐震対策になります。しかし、津波や土石流などの自然災害もあるので、家族で緊急事態の連絡方法は決めておきましょう。

今年の夏休みは、数年ぶりに復活したイベントやお祭りも多く、久しぶりにイロイロ楽しむことができました！
特に長岡出身の私は、3年ぶりの長岡花火にとっても感動し涙が(; ▽ ;)
3年前は開始早々花火に飽きていた子ども達も成長し、最後まで花火を楽しんでいた姿にもまた感動でした！

キャンプに川に、夏らしい思い出もたくさん出来たので、また頑張るぞ〜



2022年8月号 山口建築通信



●すきうち計画● ~スイッチプレート~

毎日つけたり消したりするスイッチプレート。知らない間に結構汚れています。お客様には目に付くものです。

◆意外な落とし穴

外から帰ってきたり、庭仕事を終えた後、家に入ってますづけるのが家の電気。手を洗う前に触ったりしていませんか？何と、スイッチプレートには手アカや細菌がたくさんついてるのです！こまめにお掃除しましょう。



◆お掃除方法は三段階で！

①まず、住宅用洗剤で

住宅用中性洗剤を溶かした水に浸けた雑巾を、硬く絞って拭きましょう。スイッチプレートに水分は禁物です。ぞうきんで拭く時は、水分が入らないように硬く絞るのがポイントです。

②綿棒が活躍！

細かいところは、綿棒で拭くと汚れが取れます。住宅用中性洗剤を含ませた綿棒で拭きましょう。

③仕上げにもうひと手間

清潔を保つために、仕上げに消毒用エタノール（アルコール）をティッシュやコットンに含んでサッと拭きます。毎日清潔に保ちましょう。

最後にアルコールで拭くだけで、家族内の風邪などの感染が防げます。毎日の生活の中で見落とされがちなスイッチプレート。定期的にお掃除して、清潔に保ちましょう。



- ・会社名 有限会社 山口建築工業
- ・提供できるもの 新築・リフォーム工事(省エネ健康住宅が得意です) その他、解体工事などお家に関することは何でもお任せ！！
- ・モットー 人にやさしい健康住宅
- ・会社の場所 新潟県南魚沼市二日町88
- ・連絡先 電話 025-770-2369 Fax 025-770-0014
- ・ホームページ 山口建築工業 で検索！！

今月も読んでくれてありがとうございます。来月も一生懸命作ります。お楽しみに！



※山口建築工業では土地探し〜敷地調査〜プラン作成〜お見積り〜お悩み相談まで無料です！お気軽にご相談下さい。